

きょうようきょういく でんとうぶんかじっせんかもく じかんわり
 ○教養教育「伝統文化実践科目」 時間割

ねんどぜんき がつ がつ
 2020年度前期 (4月～8月)

こうじ しょうび 講時／曜日	月	火	水	木	金
1-2 8:40-10:10	LB1671 きょうよう にほんびじゆつ 教養 日本美術 えんしゆう 演習Ⅲ はらせいじ (原誠二)			LB1673 きょうよう ほうがっき 教養 邦楽器 えんしゆう 演習Ⅱ なかうねしほ (中畝詩歩)	
3-4 10:20-11:50	LB1672 きょうよう にほんびじゆつ 教養 日本美術 えんしゆう 演習Ⅳ はらせいじ (原誠二)			LB1674 きょうよう ほうがっき 教養 邦楽器 えんしゆう 演習Ⅳ なかうねしほ (中畝詩歩)	
5-6 12:40-14:10					
7-8 14:20-15:50					
9-10 16:00-17:30					

※にほんびじゆつえんしゆうはⅢとⅣをりょうほうじゆこうを両方受講してください。

日本美術コース（週 2 回）：日本美術演習 III・IV

講師：原誠二先生

概要

「日本画を描く」という活動を通して、その材料や道具について理解し、表現の方法を習得します。また、表現の背景にある日本の文化、日本人の美意識とそれに関係した言葉なども合わせて学習していきます。日本美術の装飾性を象徴する金・銀箔を使った表現で作品を制作したり、鉱物から岩絵具を作ることも体験します。

留学生・初心者へのメッセージ

日本画独特の材料や道具（墨や筆、和紙、それに岩絵の具など）を使って表現したり、岩石（鉱物）から絵具を作ったりと、楽しみながら日本文化について学ぶことができます。

授業の展開

- 第1回 4月13日 椿を描く
椿を鉛筆でスケッチ
- 第2回 4月20日 代表的な日本美術とその背景を知る
美術作品の写真による解説
- 第3回 4月27日 金・銀箔演習
金・銀箔を作品の背景に貼る（F3号ボード）
- 第4回 5月11日 金・銀箔の上に花を描く
- 第5回 5月18日 金・銀箔の上に花を描く（仕上げ）
- 第6回 5月25日 岩絵具制作
天然素材である鉱物を絵具にする体験

第7回 6月1日 岩絵具制作

天然素材である鉱物を絵具にする体験

第8回 6月8日 岩絵具制作

天然素材である鉱物を絵具にする体験

第9回 6月15日 絵具による作品制作 I

アジサイのスケッチ

第10回 6月22日 絵具による作品制作 I

スケッチした作品を和紙に転写・着色

第11回 6月29日 絵具による作品制作 I

仕上げ

第12回 7月6日 絵具による作品制作 II

物語を作品にする（ストーリー展開の検討）

第13回 7月13日 絵具による作品制作 II

ストーリーにあわせたシーンの検討

第14回 7月20日 絵具による作品制作 II

作品制作

第15回 7月27日 絵具による作品制作 II

作品制作

第16回 8月3日 絵具による作品制作 II

作品制作（仕上げ）

※制作の進み具合によって、予定が変わることもあります。

ほうがく しゅう かい ほうがっきえんしゅう
邦楽コース (週 2回) : 邦楽器演習 II・IV

こうし なかうねし ほ せんせい
講師：中畝詩歩先生

ほうがっきえんしゅう じゆぎょうないよう さんげん
邦楽器演習 II 授業内容 (三絃)

この授業は日本の伝統楽器である三絃の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。

具体的には三絃の構え方、弾き方を習得し、最終的には箏との合奏にも取り組みたい。また三絃に触れることにより、日本文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきます。

じゆぎょうしんこうけいかく
☆ 授業進行計画

1回目 さんげん かま かた つ ぼ かくにん
三絃の構え方、ツボの確認。

2回目～4回目 「さくら」(ばんそうぼーと)のれんしゅう がっそう
の練習・合奏。

5回目～7回目 こうじょう つき れんしゅう がっそう
「荒城の月」の練習・合奏。

8回目～10回目 ぐん れんしゅう がっそう
「群」の練習・合奏。

11回目～15回目 はっぴようかい きよくもく れんしゅう
発表会の曲目の練習。

16回目 はっぴようかい
発表会

* ぜんかいりしゅう かた なんいど たか きよく れんしゅう
前回履修した方は、難易度の高い曲も練習できます。

りゅうがくせい
☆ 留学生へのメッセージ

たの がっき ふ 楽しく楽器に触れていく中で、なか ぎじゆつ しゅうとく 技術を習得し、えんそうかい ふくすう 演奏会では複数のパートに分かれ、きよく しあ ことを ちょうせん 挑戦します。たっせいかん 達成感のある、きちょう 貴重な けいけん 経験になることとおもいます。

邦楽器演奏 IV 授業内容 (箏)

この授業は日本の伝統楽器である箏の音色に触れ、その美しさ、響きを生かしながら、演奏することを目標とする。具体的には爪のはめ方、箏への構え方、さまざまな演奏方法を習得し、最終的には三絃との合奏にも取り組みます。

また箏を演奏する事により、日本の文化・礼儀作法を学ぶ事も目標としていきます。

☆ 授業進行計画

- 1回目 ガイダンス、弾き方、構え方の確認。
- 2回目～4回目 「さくら」(伴奏パート)の練習・合奏
- 5回目～7回目 「数え唄」(伴奏パート)の練習・合奏
- 8回目～10回目 「祭花」の練習・合奏
- 11回目～15回目 発表会の曲目の練習
- 16回目 発表会

* 前回履修した方は、難易度の高い曲も練習できます。

☆ 留学生へのメッセージ

楽しく楽器に触れていく中で、技術を習得し、演奏会では複数のパートに分かれ、曲を仕上げる事に挑戦します。達成感のある、貴重な経験に